国際教育支援

ILASセミナー(海外)が4年ぶりに開講

全学共通科目「ILASセミナー(海外)*」が、4年ぶりに開講されました。新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度から不開講となっていましたが、令和5年度は4年ぶりに5クラス開講され、履修者はそれぞれフランス、タイ、ベトナムへ渡航し、現地で農業や食文化、エネルギー資源、環境問題等について学びました。 ※令和6年度より「海外実地セミナー」に科目名称を変更します。





国際教育支援

国際高等教育院国際教育プログラムの令和5年度採用者が決定

令和4年度から「国際高等教育院国際教育プログラム」が開始しました。これは、英語による全学共通科目や、Kyoto iUPの留学生とともにグループワークやプロジェクト等に取り組む科目の履修に加え、海外留学の経験を積むことで、異文化や異なる



価値観を理解し、新たな価値観を創造する真の国際性を涵養する学部生対象のプログラムです。海外留学のための費用補助もあり、京大生の海外留学の促進に貢献することを目指しています。プログラム修了者には、総長名の修了証を交付します。

令和5年度は30名を採用し、9月22日には採用者に対してガイダンスを行い、履修登録に関する説明や海外留学相談会を実施しました。

国際教育支援

アジア未来リーダー育成奨学金プログラム (AFLSP) 2023

美山町サービスラーニングを実施

10月7日から9日にかけて、アジア未来リーダー育成奨学金プログラム(Asian Future Leaders Scholarship Program以下、AFLSP)の奨学生たちが、サービスラーニングで京都府美山町を訪れました。このフィールドワークの趣旨は、日本農村地域の魅力と課題を体験し、異文化理解と持続可能性などについて深い洞察を得る機会を得ることです。地元の方による講義やインタービュー、ホームスティ、かやぶきの里の見学、農業



体験、リフレクションなどを通じて、日本伝統文化の理解と尊重、多様性と包摂の促進、高齢少子化という厳しい現実の把握、ならびに持続可能な発展の検討などを行いました。学生たちにとって、地域の方との交流を通じて学ぶ貴重な機会となりました。





https://www.kugd.k.kyoto-u.ac.jp/



https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/



お問い合わせ

京都大学国際·共通教育推進部企画掛 〒606-8316 京都市左京区吉田二本松町 Mail: graduate_studies_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京都大学

大学院教育支援機構/国際高等教育院/国際・共通教育推進部

News Letter



このニュースレターでは、大学院教育支援機構、国際高等教育院、国際・共通教育推進部に関する情報をお届けしていきます。

国際教育支援

留学生のリクルーティング

インドからの優秀な学生獲得に向けて本格始動

大学院教育支援機構グローバル展開オフィスでは、優秀な留学生のリクルート活動を行っています。令和5年度は、潜在的に優秀な学生が数多くいると想定されるものの、いまだ学内の留学生数が限られているインドを活動の重点地域の一つとしており、9月~10月にかけて留学フェアやインドの大学の学長との意見交換を行いました。

Indian Institute of Technology Hyderabad Japan Week, Academic Day

Indian Institute of Technology (IIT, インド工科大学) はインドを代表する大学でインド国内各地にキャンパスが設置されています。9月18日にはIIT Hyderabadの学生に日本留学をアピールするイベント Academic Day が開催され、本学もブース参加及び大学紹介プレゼンテーションを行いました。イベント開始前から途絶えることなく学生が本学のブースを訪れ、交換留学や大学院課程への進学に関して熱心に質問をしていました。



●JSTさくらサイエンスプログラム インド大学生招へい 大学・企業説明会

JSTがIITをはじめとするインドのトップ9大学の59名の学生に、関東の大学や研究機関、企業を紹介するプログラムの一環として、9月27日に留学フェアを開催し、本学もブースを出展して留学の魅力をアピールしました。フェアでは、大学院留学前に研究環境や日本での生活を体験してもらうための短期研究室インターンシップを受入候補となる研究室リストとともに紹介しました。インターンシップに興味を示す学生も多く、うなずきながらプレゼンテーションを聞く学生、指導を希望する教員の情報や出願の流れに関する詳細な質問を持ってブースを訪れる学生も複数おり、本学の留学への関心の高さを感じました。





(次ページへ続く)

News Letter November, 2023 Vol.5

News Letter November, 2023 Vol.5

(前ページからの続き)

●インド10大学学長表敬訪問

続いて、10月2日には、JSTさくらサイエンスプラグラムに参加した学生が所属する大学を含め10のインドの大学の学長が本学を訪問され、湊長博総長や平島崇男大学院教育支援機構長らと学生交流、研究交流の発展に向けて意見交換を行いました。平島機構長から、短期研究室インターンシップの開始を含め、今後のインド向け戦略を伝えると、インドの学長は大きな関心を寄せていました。予定時間を大幅に超過するほど意見交換が盛り上がり、今後の関係深化につながる時間となりました。



* * *

この間、これまでは研究室内で点にとどまっていたインドと本学との関係を有機的に繋げられるよう、インドからの留学生やポスドク、留学生受入に積極的な先生へのヒアリングを行ってきました。今回、対面で学生や学長に直接本学をアピールできたことは大きな一歩となりました。年度内にはインドへの渡航、短期研究室インターンシップの開始は令和6年度を予定しており、今後も引き続きリクルート活動を展開して参ります。

研究室インターンシップの受入、インドからの留学生受入に関心をお持ちの先生方を随時募集しております。お気軽に大学院教育支援機構までご連絡ください。

キャリア開発・育成支援

大学院教育支援機構奨励研究員およびフェローシップ受給者による ポスター発表会・研究交流会を開催

10月27日および11月1日に、大学院教育支援機構奨励研究員およびフェローシップ受給者によるポスター発表会・研究交流会を開催しました。

このイベントの目的は、大学院教育支援機構が経済支援を 行う博士課程学生が研究内容や成果を発表し、研究科や 研究室など枠組みを越えて議論し合うことで研究者能力を 向上させることです。 平島崇男機構長の激励の挨拶を受けて、10月27日は学生 63名、11月1日は学生42名がポスター発表を行いました。

両日の一般参加者数は100名以上となり、学生、教員、企業の方との間で分野を超えた交流が行われました。また、C-ENGINEからは研究インターンシップに関する説明・相談を行い、同協議会参画企業7社がポスター発表し、研究内容に関する意見交換も行いました。





国際教育支援

2023 Amgen Scholars Program (アムジェン・スカラーズ・プログラム)

世界最大の独立バイオテクノロジー企業であるアムジェン 社が設立した財団の支援を受けて、サマーリサーチプログラム を実施しました。

理系分野の学部生を対象とし、プログラム参加大学・研究機関において最先端の研究に触れる機会と、次世代を担う科学者となる足がかりを提供することを目的としています。 ハーバード大学やケンブリッジ大学をはじめとする世界有数の大学・研究機関が受入先として参加しており、日本では本学と東京大学が実施しています。

本学におけるプログラム最終日に開催された成果発表会では、すべてのスカラーが、研究成果をまとめあげたポスター発表およびフラッシュトーク形式によるプレゼンを行い、投票の結果、上位3名が選出されました。引き続いてシンガポールで開催されたアジア・シンポジウムにおいては、同様にサマー

リサーチプログラムを実施しているシンガポール国立大学、清華大学、東京大学、本学から合計108人のスカラーが集まり、全スカラーによるポスター発表と、各校の上位3名者によるプレゼンが行われました。ほかに有識者による講演やキャリアについてのパネルディスカッションなどが実施され、全体を通して活発な質疑応答や意見交換が行われました。

このようなプログラムを通じて、参加学生の科学者としての

キャリアパスの第一歩 となる経験を提供す ることはもちろんのこ と、本学大学院への進 学につながることが 期待されます。







国際教育支援

Kingfisher Global Leadership Program (キングフィッシャー・グローバル・リーダーシップ・プログラム)

久能祐子氏(本学大学院工学研究科博士後期課程修了、工学博士)、ワシントン D.C.京都大学同窓会等の協力を受けて企画された海外派遣プログラムです。

参加学生は約2週間、米国ワシントン D.C.とサンフランシスコに滞在し、NASA、NIH、世界銀行、スタンフォード大学、Googleをはじめとした国際機関や大学、非営利団体、企業を訪問します。そこでは、現地で働くスペシャリストや研究者、起業家から、キャリアの歩みや現在の仕事内容、働くうえで大切にしていること、自身にとってのリーダーシップ像等について話を聞き、プロフェッショナルと議論する、数多くの機会に恵まれます。

京都大学を卒業後、国際舞台で活躍するキャリアを考えてみる一助になるほか、参加費用(航空券代、現地滞在費、交通費等)は京大コラボ(Kyodai Collaborative)*の全面的な支援を受けられることから、学生にとって大変魅力のあるプログラムです。

今年度は97名の応募者から、10名の参加者を決定し、9月1日から9月16日 までの期間でプログラムを実施しました。

※京大コラボ (Kyodai Collaborative) は、本学同窓生及び本学への支援者を結び付け米国内での寄附拡大することを目的として、在米国の同窓生を中心に設立されたNPO法人です。



